

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (いなべ総合学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>自主自律のもと「生徒一人ひとりの能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○ 自己管理ができ、進路実現に向け主体的に学習や部活動等、教育活動に取り組んでいます。</p> <p>○ 人間関係力やコミュニケーション能力があり、チームとして活動ができます。</p> <p>○ 地域社会に興味・関心を持ち、主体的に社会貢献に取り組んでいます。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○ 言葉だけでなく、自らの姿(行動)からも教え育てます「率先垂範」。</p> <p>○ 仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとします。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 進路実現に向け、充実した高校生活。</p> <p>〈保護者〉 安全・安心で師弟同行が感じられる充実した学習環境。</p> <p>〈地域〉 学校の専門知識や施設の提供による地域の活性化。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈家庭〉 連携・協力するにあたって、学校の現状や課題の共有。</p> <p>〈中学校〉 高校生活や進路状況等、情報の提供。</p> <p>〈地域〉 地域の活性化のための若い力の提供。</p>	<p>〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力、共に育てるための信頼と連携。</p> <p>〈中学校〉 効果的な指導をするための生徒の情報共有。</p> <p>〈地域〉 本校教育活動への理解、共に育てるための信頼と連携。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が元気で明るく学び続けられるように、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にしっかりと取り組んでいただきたい。 ・ 地域の方との交流も増やし、生徒の「楽しい」を引き出せる学校を目指してほしい。 ・ 地域や保護者にとって、学校が身近に感じられる開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいただきたい。 ・ 教職員のカウンセラー相談件数65件という結果について、要因を分析し、必要な対応を検討してほしい。 ・ 取組を行った結果の記述について、さらに具体的な内容を記述し、取組の評価を行ってほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上を図るため、学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けた取組が必要です。年次と教科が連携し家庭学習時間の増加に向けての取組が進められていますが、生徒個人個人の差が大きいのが現状です。今後も尚一層、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに取り組めます。 <p>○進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路は多岐にわたり、多様な対応が求められています。進路指導部と年次の連携のもと進学・就職ともに良い結果に繋がるように早期からのキャリア教育、公務員対策や課外授業などの更なる充実を図り、生徒の進路実現に取り組めます。 <p>○生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いた教育環境の中、生徒は主体的に学習活動に取り組んでいます。今後も生徒会等と連携し、規範意識の向上や命を大切に生き抜く力の育成に積極的に努めます。 <p>○保健管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気で活発に高校生活を送ることが大切です。心身の健康に関する知識や関心を高めるため、引き続き健康教育及び環境教育の充実に取り組めます。
	学校運営等	<p>○開かれた学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の最新情報をホームページや説明会等により積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を引き続き行います。 <p>○学校経営改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼される学校を目指して、行動計画を策定し積極的に実践します。また、教育課題については教職員全員と共有し、課題解決に向けた現職教育(校内研修)の実施等、資質能力の向上に努めます。 ・ 教職員が心にゆとりを持つことにより、充実した教育活動が実践できるよう、総勤務時間の縮減に向けて会議時間の縮減等、更に具体的に取り組んでいきます。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の確立や学習意欲の向上に向け、引き続き、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに積極的に取り組んでいきます。 ・ 進路保障の充実に向け、キャリア教育や課外授業等において、成果を見据えた取組をしていきます。 ・ 基本的生活習慣や規範意識(美化意識)の確立など社会性の育成に向け、生徒会を中心に保護者や地域と連携し、生徒自身が自発的に意識を高めていく雰囲気づくりに取り組んでいきます。 ・ 命を大切に、生き抜く力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に繋がる取組を積極的に行います。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の最新情報等をホームページなど様々な角度から情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を積極的に行います。 ・ 信頼される学校を目指して、行動計画を策定(更新)し積極的に実践します。また、教育課題については教職員全員と共有し、その課題解決に向けた現職教育(校内研修)の充実など積極的に取り組んでいきます。 ・ 総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取り組んでいきます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの学力の伸長を図ります。上位層・下位層の引き上げを重点的に行う方法を研究します。 授業の創意工夫と改善に努め、きめ細かい授業展開を推進します。家庭学習の強化など教職員間の情報共有を図り、生徒のよりよい進路希望実現に向けて授業改善に努めます。 「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的な探究の時間)」におけるキャリア教育を通して進路希望の実現を図ります。 予習・授業・復習のサイクルで学習習慣の確立に努めます。提出物の徹底と期限を守れるよう指導します。 生徒の進路決定の実現に向けて、定期的な面談を通じて、きめ細かく指導します。 年次と教科の連携を強め、生徒の情報共有を図ることで、学習習慣・生活習慣の確立を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 上位進学希望者の特進塾の活用、成績不振者の補習を実施しました。 自主的に授業研究に取り組む動きが始まりました。主体的で対話的な学びへの転換を引き続き図ります。 新教育課程の科目登録については、更なる改善が必要です。 「授業の振り返り」を導入するとともに、GoogleClassroom 活用を更に進めます。 科目登録に関する面談を実施しました。 意識して取り組みましたが、更なる連携の強化が必要です。 	◎
○進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスや保護者説明会、三者懇談を通して、生徒・保護者との相互理解を図り、生徒の進路実現に向けた協力体制を構築します。 各年次と分掌との連携を強め、生徒に必要な情報を共有し、計画的な進路指導を行います。 定期的な個人面談を通じて現状把握を行い、生徒の進路実現につながる科目選択ができるよう指導します。 「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的な探究の時間)」などキャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を高めます。また、地域と連携した学習を通して、社会貢献できる人材育成に取り組めます。 進学に関しては、国公立大学合格を目指し、いなべ特進塾や夏季課外の充実により一般選抜に対応できる高い学力の養成を図るとともに、総合型選抜、学校推薦型選抜にも対応できるように面接指導・小論文指導などを進めます。 就職に関しては、計画的・継続的な問題演習により基礎学力の向上を図り、面接指導を充実させることで、就職内定100%を目指します。また公務員志望者には早期から対策問題演習に取り組ませることで学力向上とともに意識を高め、進路実現に繋げ 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍による影響、変化は残るものの、ほぼコロナ前の内容で計画・実施できました。 保護者説明会(3年次複数回)、保護者相談会を実施し、進路情報の共有に努めました。 キャリア教育については計画に基づき取り組むことができましたが、形骸化が懸念される部分もあり、改善に向けて協議する必要があります。 進学…強い目的意識を持って推薦型選抜から積極的に受験し、進路実現を果たしました。また一般選抜合格者が増え、国公 	◎

<p>○生徒指導</p>	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立に努め、学校生活が有意義で興味深く、充実したものになることを目指します。 ・ 学校や社会全体の規則の遵守とマナーの向上に取り組みます。 ・ 安全教育の徹底、環境美化の推進を目指します。 ・ いじめの早期発見・早期解決を目指すとともに、いじめを許さない雰囲気形成します。 ・ 人権に配慮した生徒指導を行います。 ・ 各分掌や各学年と連携を図り、学校全体での生徒指導を心がけます。 	<p>立大学にも複数名合格しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職…就職希望者全員が早期に内定をいただきました。公務員も早期からの演習により進路実現に繋げることができました。 ・ 3年次をはじめ年次・分掌と協働できました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の持ち物の管理の徹底を常時呼びかけ、ロッカー施錠率が向上しました。 ・ 指導を通じて規範意識の向上に努めることができました。 ・ 生指講話やST・LHRを通じて安全教育を行い、命の大切さを伝えることができました。 ・ 多くのいじめ認知を行い、いじめ防止委員会を中心に適切な対応・情報共有ができました。 ・ 日頃の指導において人権に配慮するとともに、アルバイト規定の改定を行うこともできました。 ・ 部会を定期的に開催して情報共有を図る一方、他の分掌・学年とも連携を密にすることができました。職員会議等で教職員間の情報共有と連携を図ることができました。
<p>○保健管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健環境委員会活動を通じて、心身の健康に関する知識、関心を高めます。また、環境美化の活性化を図ります。 ・ 定期的に保健通信を発行し、感染症対策の意識向上、健康を守るための知識を指導します。 ・ 生徒がいつも安心して来室でき、心身ともに休むことのできる保健室を目指します。 ・ 心に悩みのある生徒を教育相談につなぎ、広くカウンセリング室の利用を図ります。 ・ 保健環境部が中心となり、各年次、生徒指導部等と連携を図りながら、心に悩みのある生徒の支援に努めます。 ・ 学年やチューターと協力して、ゴミの分別への啓発活動を行い、その習慣を身につけるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健環境委員が文化祭において、「食生活」「睡眠」「スポーツ」の3つをテーマに展示発表しました。 ・ 保健通信を毎月1回、保健環境部年間計画の指導内容に沿って発行しました。 ・ 養護教諭2名が、親身に対応しています。 ・ 4月～3月のカウンセラー相談件数は、生徒54件・保護者16件・教職員10件で

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の積極的な清掃活動の推進を図り、校内美化に取り組めます。 また、大勢がよく手を触れる箇所の消毒を徹底します。 ・ 教室等の整理整頓を意識させ、学習環境の整備を図ること、学習意欲の向上につなげていきます。 	<p>した。また、教職員にコンサルテーションを行った件数は61件でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年4回の大掃除と各学年が年1回の校外清掃を実施しました。日常の全員清掃も積極的に行い、ゴミも概ね分別できました。
--	--	---

改善課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的・対話的で深い学びの実現、ICTの有効活用等のために、継続的に授業改善に取り組む必要があります。 ・ 教育課程、科目登録、学習評価、キャリア教育について、社会の動向や学校の実態を踏まえ不断に改善する必要があります。 ・ 引き続き、いじめの早期発見・早期対応に取り組むとともに、全ての人の人権に配慮した教育活動を進める必要があります。 ・ 生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、引き続き、環境整備や相談できる体制づくりに努める必要があります。
--

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
◎保護者・地域住民等との連携・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や地域に向けて、ホームページや広報冊子などで積極的な情報発信に努めます。 ・ 学校説明会(10月15日)の内容を充実させ、中学生及び保護者向けに、本校の魅力発信に努めます。 ・ きずなネットなどを利用して、生徒及び保護者に学校行事予定の定期的な発信や緊急連絡の発信に努めます。 ・ 台風や大雪などの緊急連絡について、できるだけ早い段階で判断し通知するよう努めます。 ・ 年次通信を定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えます。 ・ 三者懇談会で、保護者に丁寧に分かりやすく学校の様子を伝えます。 ・ 進路別保護者会などにおいて、保護者のニーズに合った情報を分かりやすく提供します。生徒、教職員、保護者の三者が一体となれるよう、連携の強化に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページは月1回以上の更新、広報誌は中学生向けに「学校案内」、「IVY通信」、保護者向けにPTA広報誌「つたわかば」(年2回発行)などを発行しました。 ・ 学校説明会(10/15)は、時間を分けて2部構成で行い、全体会(各教室)は配信での実施としました。 ※申込み者数: 中学生 502人、保護者 299人、計 801人 ・ きずなネットは、コロナ対応や大雪時の連絡など、緊急時の連絡を中心に、効果的な配信に努めました。※登録者数: 生徒 870人、保護者 1123人(どちらも延べ人数) ・ 年次通信も長期休暇前等定期的に発行し学校の様子や考えを保護者と共 	

<p>○働きやすい 職場環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総勤務時間の縮減に向け、定時退校日や会議時間の縮減等、具体的に取り組みます。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定時退校日を月1日設定し、定時に退校できた 教職員の割合:95%以上(昨年度 90.1%) ② 部活動休養日を週1日設定し、休養日を実施できた 部活動の割合:100%(昨年度 99.2%) ③ 放課後に開催し60分以内に終了した 会議の割合:80%以上(昨年度 69.4%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1人当たりの月平均 時間外労働:13.5 時間以下(昨年度 15.1 時間) ② 年 360 時間を超える 時間外労働者数:0人(昨年度 9 人) ③ 月 45 時間を超える 時間外労働者の延べ人数:0人(昨年度 51 人) ④ 1人当たりの年間 休暇取得日数 23.5 日(昨年度 23.0 日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な学習環境のための適切な施設整備及び備品消耗品の管理の徹底を行います。 <p>【活動指標】</p> <p>各倉庫の消耗品等の個数チェックを1回実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>備品消耗品の紛失ゼロ</p> <p>【活動指標】</p> <p>校内の施設環境のチェックを1回実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>施設環境不備紛失ゼロ</p>	<p>有できるよう努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談や進路や科目登録に関する保護者説明会等の機会を活用し、保護者との連携強化に努めました。 <p>(令和4年12月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①91% ②99.2% ③72.1% <p>(令和5年2月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①26.3時間 ②25人 ③39人 ④25.6日 <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に各点検を行いました。 <p>1回実施</p> <p>紛失なし</p> <p>1回実施</p> <p>紛失なし</p>
<p>○資質向上の 取組及びチームワークの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス・ミーティングを実施することにより不祥事を根絶するとともに、教職員が学校に関わる全ての人々により一層の信頼を得るため、言動に注意し、職務に励み、説明責任が果たせるように努めます。 <p>【活動指標】</p> <p>コンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課題等について全教職員と共有し、その課題解決に向け現職教育(校内研修)の充実など積極的に取り組みます。 <p>【活動指標】</p> <p>人権教育と特別支援教育又は教育相談関連の 現職教育を年2回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員が一体となれるようコミュニケーションを大切にし、 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス・ミーティングを職員会議時に3回行いました。 ・「学校における性の多様性(人権教育)」、「発達障がいのある生徒への特性に応じた支援(教育相談)」、「コーチングスキ

	<p>学校行事が速やかに円滑に運営できるよう努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な危機に対応できる体制の強化に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。 ・ 校内ネットワークの管理に努め、統一システムを運用します。 ・ 現状にあっていない内規の改訂、分掌内での引継ぎ資料の作成を適切に行います。 	<p>ル」、「いじめ認知(生徒指導)」について現職教育(校内研修)を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長と教職員との面談を定期的に行い、コミュニケーションを深められるよう努めるとともに、教職員の健康観察を適切に行いました。 ・ 校内ネットワーク等について適切に管理・運用、また活用ができました。 ・ 生徒指導全般において内規等の見直しを行いました。
--	--	---

改善課題

- ・ ホームページ更新や広報冊子の発行等については計画的に実施することができていますが、降雪や突発的な事象に関する情報発信に関しては更に改善していく必要があるなど、開かれた学校づくりという理念の実現に向けて、引き続き、適切な情報発信のあり方を模索する必要があります。
- ・ 総勤務時間の縮減に向けては、前年度に比べて、かなり悪化している状況です。要因を洗い出し、改善に向けて取り組む必要があります。
- ・ 学校の信頼を向上するために定期的にコンプライアンス・ミーティング等を実施することができましたが、教職員一人ひとりの資質向上が基本であることから、現職教育(校内研修)の充実に努める必要があります。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革を進めるにあたっては、本来教師がすべき仕事と教師でなくてもよい仕事についてしっかり考えたうえで、対応すべきである。 ・ 総合学科ということで、科目の選択をはじめ、子どもたちが選択を迫られる機会が多いことは、いなべ総合学園の強みである。子どもたちに寄り添い、主体的に選択できるよう指導して欲しい。 ・ 中学校卒業までに選択することが少なかった子どももおり、高校で選択を迫られることに負担を感じる子どももいることから、日頃からの関わりを大切にしたい。 ・ 18歳成人に関して、保護者の立場からは大きな戸惑いを抱いているので、消費者教育などしっかり取り組んでほしい。 ・ 計画に基づき、しっかり取組を進めていただいているので、引き続き、家庭・地域と連携した取組を進めてもらいたい。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業力向上、授業改善のために教職員一人ひとりが何ができるかを考え、年間の研修目標を立て、それに基づく取組を進めます。 ・ 自分を大切にすると同時に他者も尊重できるよう人権教育の考え方を基盤とした教育活動を進め、いじめや問題行動に適切に対応する、誰もが安心して暮らせる学校づくりを進めます。
---------------------	---

学校運営につ
いての改善策

- ・ 現職教育(校内研修)を充実し、教職員一人ひとりの資質向上に努めるとともに、本校の社会的使命、本校で学ぶ子どもたちに育みたい力等を整理し、学校としての方向性を確認したうえで、取組を進めます。
- ・ 総勤務時間の縮減の必要性について、改めて教職員間で共有し、実効性のある取組を進めます。
- ・ 校長と教職員の対話の機会を確保したり、委員会等において意見の言いやすい雰囲気を作ることによって、風通しの良い組織づくりにつなげます。